

まなびの森

校長通信第4号 令和元年.6.25
廿日市市立吉和小中学校
校長 森岡 勝司
TEL(0829)77-2010

教育目標「夢や目標をもち、自己実現をめざす児童生徒の育成」

吉和にもホタルが乱舞しています！小学生は明日から修学旅行です！

早いもので吉和学園に赴任し3ヶ月が経とうとしています。バタバタしていたため、久方ぶりの校長通信となりました。

さて、先日の道徳参観日には平日にもかかわらず多くの保護者の皆様に参観いただきありがとうございました。電子黒板を活用しての授業公開でしたが、保護者の皆様にも飛び入り参加？をしていただく等、ご協力をいただきありがとうございました。中学校では今年度から教科書を活用しての道徳科が始まりましたが、「考え議論する」授業であることをふまえ、多様な考えを引き出し、深まりのある授業づくりをすすめて参ります。



話は変わりますが、今週月曜日は吉和保育園との接続交流会の一貫として、吉和支所と連携し、吉和ひまわり畑にて本校小学生と年長児、年中児さんとでひまわりの苗植えを行いました。夏の吉和まつりに向けての準備でしたが、地域への貢献活動としての一步を踏み出すことができました。

ところで、以前赴任していた湯来町や志和町では「ホタル祭り」が開催されていました。ここ吉和ではどうかと数人の児童に聞きますと、「めっちゃ飛んでいますよ！」とホタルが乱舞しているとのこと。

学校だよりで紹介しましたが、命の授業をさせていただいた折に、ホタルについて語りました。日本にはなんと40種類のホタルが生息しているそうです。ほとんどのホタルは成虫の段階で口器が退化し、水を摂取する機能しかないそうです。つまり、幼虫時代に蓄えた栄養で生き、成虫になってわずか1～2週間で生涯を閉じます。その点で、ホタルは小さな命を精一杯に輝かせて生きているわけです。

吉和の夜空に乱舞するホタルの姿を見て考えてみたらどうでしょうか？ 私達の一生も、壮大な宇宙から見ればほんの一瞬の出来事かもしれません。一日一日を精一杯生きるホタルに学ぶべき点があるとすれば、私達も今日一日を精一杯、自分らしく生き抜いていきたいと思えます。命の授業のしめくくり、「あなたはどのような輝きをしますか？」と問い、その答えとして2つ伝えました。「あなたはいじめるために生まれたものではありません。まわりの人に夢や希望をあたるために生まれたのです。」と。そしてもう1つ伝えます。「未来を創るのは遠い彼方にあるのではなく、未来を創るのは自分自身であり、今、この瞬間、頑張ることです！」と。

いよいよ明日からは、5・6年生の修学旅行が実施されます。思い出多き、楽しい修学旅行になりますよう祈っております。